

# 第9回 市民と議会のつどい

## 「語ってみゅーか」

平成24年5月10日（木）、11日（金） 午後7時～9時

### <会次第>

◇開会あいさつ

◇議会報告

3月定例会の概要

市政・議会トピックス

◇意見交換

各班のテーマについて、ご意見・ご要望をお聴きします。

◇フリートーク

市政全般について、ご意見・ご要望をお聴きします。

◇閉会あいさつ

### ◆「市民と議会のつどい」の実施方法

**時 期** 原則として3月及び9月定例議会終了後2ヶ月以内に開催  
**場 所** 市内8地区（三浦、鈴田、大村、西大村、竹松、萱瀬、福重、松原）の住民センター、コミセンなど  
**実施方法** 議員が市民全体の代表者として6人編成の4班にわかれ、市内各地区で実施します。地元の議員が参加するとは限りませんのでご了解ください。



# 3月定例会

平成24年度の当初予算11会計を可決したほか、平成23年度の補正予算、条例改正など38議案を可決(承認・同意)しました。市政一般質問においては、17名の議員が質問を行いました。

なお、一般会計当初予算においては、予算特別委員会(議長を除く全議員が委員)を設置し、集中的な審査を行いました。

## □ 平成24年度の一般会計当初予算の概要

平成24年度の一般会計当初予算の予算規模は358億7,000万円で、前年度と比較して、11億3,000万円の減、伸び率はマイナス3.1%となっています。

歳入面での主な増減は、社会福祉費の増加の影響などによる地方交付税の増、大型事業の減少による市債や繰入金の減など、歳出面での主な増減は、公営住宅の整備などによる土木費の増、中心市街地再開発事業への補助金の減少などによる商工費の減などです。

また、中心市街地再開発事業や公営住宅等整備事業などの「中心市街地の活性化」、不妊症支援対策事業や地方裁量型認定こども園運営円滑化事業などの「子育て支援体制の充実」、英語力向上対策事業や心のケア充実対策事業などの「将来を担う人材の育成」、デジタル防災行政同報系無線整備事業や、よし川都市基盤河川改修事業などの「安全で安心して暮らせるまちづくり」などについて、重点的に予算を配分していま

## □ 平成24年度の主な新規事業

- ◇認可外保育施設運営支援事業 …4,942万8,000円  
保育所設置基準に適合した施設に対して運営費補助金を交付
- ◇不妊症支援対策事業 …375万円  
特定不妊治療費用の一部を国・県の制度に上乗せして助成
- ◇公営住宅整備事業(黒木住宅) …899万8,000円  
黒木地区に木造戸建ての市営住宅を4戸整備
- ◇防犯灯LED化推進事業 …1,350万円  
市内の防犯灯を5カ年でLED防犯灯に取り換え
- ◇電動アシスト自転車購入補助事業 …100万円  
電動アシスト自転車の購入費用の一部を補助(65歳以上が対象者)
- ◇住宅リフォーム緊急支援事業 …2,000万円  
居住用の住宅改修費用に対して補助金を交付



## □ 議会からの質疑・意見

### ◇市長公室

東京事務所の活動を広報紙に掲載するなど、何らかの形で活動状況を市民に伝えるよう要求。

### ◇総務部

本市で開催される長崎県総合防災訓練について、さらなるPRを市民に対して行うよう要求。

### ◇財政部

市庁舎の一部を職員組合の事務所として無償で貸し付けていることに対する見解について質問。市側からは「従来から慣習的に庁舎使用料を取っていなかったが、今後はこの件について調査研究していきたい」との答弁。

### ◇市民環境部

随意契約で行っている不燃物・資源物の収集運搬業務について、入札で業者を決定するよう要求。市側からは「平成25年度から指名競争入札の一部実施、平成28年度から完全実施を目指して努力したい」との答弁。

可燃ごみ収集車の過積載の現状と対策について質問。市側からは「平成19年度から平成24年1月末までの調査で、稼働台数1万1,363台のうち1,780台、15.66%の過積載があった。今後は計量時に職員によるチェックの徹底、委託業者への防止の周知及び指導を行うなど、過積載をなくすよう努めたい」との答弁。

### ◇商工観光部

特産品愛用推進事業について、実物に触れる機会を設けるなど、購入につながる効果的な特産品のPRを行うよう要求。

### ◇福祉保健部

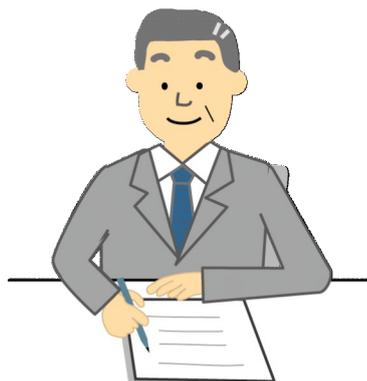
新規事業である電動アシスト自転車購入補助事業の補助対象者を高齢者に限定した理由や自転車事故対策について質問。市側からは「高齢者の外出支援、健康維持を目的にしている。対象者にはTSマーク付帯保険へ加入していただくとともに、購入前に市が主催する安全運転講習会を受講していただく」との答弁。

### ◇農林水産部

大村湾の底質改善実証実験の現状について質問。市側からは「思うような効果が出ていない状況であり、平成24年度においては、水酸化マグネシウムの散布量や散布時期を再検証して実施する」との答弁。

### ◇都市整備部

本町アパート及び市民交流プラザ整備事業における駐車場の確保状況、対策について質問。市側からは「旧駅前アパート跡地に整備される駐車場の利用状況、市民会館の駐車場の利用状況、県立図書館誘致の動向などを踏まえ、中心市街地エリアで駐車場確保を考えている。また、平成26年度秋の供用開始までには、施設周辺に約50台駐車できる駐車場を確保するようにしたい」との答弁。



## □ その他の3月定例会の主な内容

### ◇第5期（平成24～26年度）介護保険料の改定

主な改正部分は、基準額の引き上げ（月額4,130円から4,960円に）、負担率の段階区分の変更（9段階から11段階に）などです。

厚生委員会では、今後の介護保険料の動向について質問し、市側からは「平成24年から団塊の世代が65歳に到達していき、介護認定者数の増加が見込まれるため、第6期（平成27～29年度）の保険料までは増額になると思われる」との答弁がありました。

### ◇副市長の選任

新しい副市長に小野道彦氏（前日赤長崎原爆病院事務部長）と吉野哲氏（前大村市財政部長）を選任する2件の人事案件を同意しました。

### ◇特別・企業会計の当初予算

国保特別会計の収納対策について、徴収一元化など収納体制のさらなる効率化を検討するよう求めたほか、水道事業会計など水道局所管の5会計について、随意契約で行っている委託業務を入札に切り替えるなど経費削減に取り組むよう求めました。

### ◇平成23年度の一般会計補正予算

補正予算の主なものは、三城・竹松・松原小学校の校舎耐震化工事、県央地区の果樹等集出荷施設の移転新築に対する補助金交付などです。

また、東日本大震災の影響により、国の補助金の交付決定が遅れたため、学校給食センター建設事業が、平成24年度の予算に繰り越されました。（供用開始は平成25年8月予定）

果樹等集出荷施設の新築工事については、地元業者の活用を図るよう求めました。



# 市政・議会トピックス

## ガレキの受け入れについて

3月定例会の一般質問において、松本市長は、東日本大震災で発生したガレキの受け入れについて「受け入れに対する市民のご理解と施設整備の条件がそろえば受け入れてもよいと考えている」と表明しました。

これを受け、大村市議会では、がれき受け入れについて検討することを目的として「東日本大震災のガレキ処理を考えるプロジェクト・チーム」を設置しました。

今後は、このチームにおいて、担当課からの現状説明、環境センター焼却炉・最終処分場の現地視察、市長との意見交換などを実施し、がれき受け入れの可能性についての調査・研究を行ってまいります。



## 議会だよりの紙面リニューアル

大村市議会では、平成23年5月号より「市議会だより おおむら」の紙面をリニューアルしたところです。大きな変化としては、より読みやすくなるよう行間を広くするなど空白部分を多くしたほか、これまで議員別に掲載していた一般質問の内容を、福祉・教育・財政・防災などの政策別に区分けして掲載しております。

また、平成24年2月号において、紙面リニューアル前後を比較して、見やすくなったか、読みやすくなったかなどのアンケート調査を行わせていただきました。ご協力いただいた市民の皆さまにお礼を申し上げます。

アンケート結果やお寄せいただきましたご意見を参考にしながら、よりよい紙面づくりを目指してまいります。



# 大村市議会の議会改革



## ■ 議会基本条例の制定

議会の役割と活動の指針を明確にするため、議会基本条例を制定しています。議員同士、行政側との活発な議論の推進や市民への説明責任などが盛り込まれており、具体的には、「市民と議会のつどい」の定期開催や行政側が議員に逆質問できる「反問権」の付与、一般質問をわかりやすくするための「一問一答方式」の導入などを定めています。

## ■ 市民と議会のつどいの開催

議会での意思決定に関する説明責任を果たすとともに、市民との意見交換を行うため、市内8地区で年2回、「市民と議会のつどい」を開催しています。ご参加された市民の皆様からいただいたご意見は、所管の常任委員会で整理・研究し、定例議会の一般質問で取り上げるとともに、重要な案件については、大村市へ要望を行っています。

## ■ 市政研究会の開催

政務調査の報告や市政の動きについて情報の共有を図るために、定例議会がない月にも全議員が集合し、「市政研究会」を開催しています。

## ■ 一般会計予算・決算特別委員会の設置

行政運営の根幹である一般会計の重要性に鑑み、監視機能の強化、論議の活性化を図るため、議長を除く全議員で構成する特別委員会を設置し、一般会計の予算・決算審査を行っています。

## ■ 本会議の生中継・録画中継

定例会・臨時会のすべての本会議の様態をケーブルテレビで生中継、ホームページで録画配信しているほか、定例会の一般質問の様態をFMラジオで生中継しています。

## ■ すべての会議を公開

本会議、委員会等、原則すべての会議を公開しています。

## ■ 政務調査費の透明性の確保

政務調査費の執行状況をホームページ上で公表するとともに、議会事務局で収支報告書が閲覧できます。

## ■ 議会基本条例、議会改革の検証、強化

これまで取り組んできた議会改革を検証するとともに、議会基本条例が有効に機能しているかを検証する組織を設置しています。

# 市議会の活動を知るためには

市議会の活動は、定例会や臨時会の会議のほか、必要に応じて各種委員会や全員協議会など、市政の重要な問題などを話し合う会議などが開かれています。

それら議会の活動を知っていただくためには、以下のような方法があります。

## ①傍聴

本会議及び委員会は、公開されています。傍聴を希望される方は、傍聴受付簿に記載のうえ、傍聴ください。ただし、委員会は、傍聴席に限りがありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

## ②会議録

本会議の記録は、市役所（情報コーナー）、市立図書館、各出張所で閲覧できます。また、議会ホームページでもご覧いただけます。

## ③市議会だより

市議会の活動を広く市民の皆様にお知らせするために、定例会ごとの年4回「市議会だより おおむら」を発行し、市報などと一緒に各戸配布するほか、市の各施設にも置いておりますので、ぜひご覧ください。

## ④議会ホームページ

インターネットを使って、大村市のホームページから市議会のホームページをご覧いただけます。内容は、議会のしくみ、市議会だより、会議録、定例会・臨時会の録画配信、本会議の予定、一般質問の内容など最新の情報を掲載しています。

## ⑤ケーブルテレビ・FMラジオ

定例会・臨時会のすべての本会議の様様をケーブルテレビで、定例会の一般質問の様様をFMラジオで生中継しています。

## 請願・陳情の出し方



市議会は、みなさんから市政などに対する要望や意見を請願あるいは陳情として受け付け、審査を行います。請願書については、議会で採択か不採択かの結論を出し、採択したものは国・県など関係機関に必要な措置を講じるよう求めます。陳情書は委員会に送付することとしています。

請願・陳情書は、市政についての要望、提出年月日、提出者の住所・氏名などを記載し、押印したものを議長に提出することになっています。なお、請願書を出すには1人以上の議員の紹介が必要です。（陳情書は議員の紹介は不要です）

請願・陳情については随時受け付けていますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。（ホームページでも様式等が閲覧できます）

◇大村市議会

大村市玖島1丁目25番地 TEL 52 - 3828

<http://www.city.omura.nagasaki.jp/gikai/>